

アメリカンブランドが好き! / 松山英樹、最強の全貌

デザイナー  
フィリップ・ラバーズ

クロノスゴルフの代表  
兼デザイナー。米国カリフォルニア州カールスバッド出身。学生時代、ゴルフではスカラシティプレーヤーでならし、日本の大学への留学経験をもつ。



## クロノスゴルフの作り方

日本人は約束の時間を守るよね  
「KRONOS GOLF」のフィリップ氏。なぜ彼は日本に渡ったのか。  
その理由を確かめに、カリフォルニアの彼のオフィスを訪ねた。

BRAND\_7 California

PUTTER

## KRONOS GOLF

クロノスゴルフ

米ゴルフ産業の中心カールスバッドに創業したバターブランド。フェースの中心に重心があり、製造初期段階でほぼ完成品に近い状態で削り出される精密さが特徴。ミルドバターの先人にならったクラシックさに最新技術を融合している。

日本人は約束の時間を守るよね  
「KRONOS GOLF」のフィリップ氏。なぜ彼は日本に渡ったのか。  
その理由を確かめに、カリフォルニアの彼のオフィスを訪ねた。  
オーシャンサイドの工房で、「クロノスゴルフ」のデザイナー、フィリップ氏は我々を笑顔で迎えてくれた。  
銃のバーツも製造できる精密な工作機が並ぶ工場の一角。改装した空間の奥、デスクの上には発売前の新作バターと3Dプリンター、PCとスケッチ画。この場所からクロノスゴルフのバターは生み出されている。  
だが工房のあるこの場所はそもそも友人が運営する工場だ。クロノスゴルフとはフィリップ氏の幅広い交友関係に支えられていることをこの後我々は思い知ることになる。

# EVEN

For Stylish Player [イーブン]  
2017/Vol.103

5

for tasty life



いざ、マスターズ制覇へ!  
**アメリカン  
ブランドが好き!**  
松山英樹、  
最強の全貌

ゴルフ小物カタログ  
2017

実は使える  
ゴル友に教えたくなる  
小ネタ満載

EVEN BRAND  
CATALOG 2017  
Spring and Summer

女子ツアーオの練習日リポート



1:新作パーティーを惜しげもなく披露。2:日本で覚えた陶芸はクラフトマンシップの原点。3:銃も製造する可能なミルドマシンを操る。4:バッティングマシンも大学の学生と共に開発。5:工房に掲げられた日本語。6:海まで“500V”的工房。

ルドメツキは件のメツキ工場で丁寧に手掛けたものだ。また、流行のツノ型マレットとブレードは重心調整用のウエイトに加え、プラスチモーション社のセンサーも内蔵できる仕様（※日本国内導入は未定）である。古き良き往年のデザインを現代によみがえらせる。ブランドのロゴに描かれた不死鳥は、そんなフィリップ氏の思いに由来したものだ。だが、そこには常にフィリップ氏の実直なパター作りへの情熱と、最新のテクノロジーがあった。伝統や人との縁を重んじ、新たなパターを創造する。クロノスとはそんなブランドである。

ユーワースは、仕事で悩んだ時にも相談に乗ってくれて、本当に感謝しているんだ」とフィリップ氏。彼の情熱にゴルフ産業の中心地サンディエゴのキーマン達が立ち上がり、彼を支える。クロノスゴルフが立ち上げからわずか数年で人気ブランドとなつた背景には、フィリップ氏と周囲の人々とのこんな素敵な関係があつたのである。

話を前述の彼のデスクへと戻そう。デスクに広げられたプロトタイプのパターを改めて見てほしい。クラシカルなベンホーガン風パターは、フェースセンターにヘッドの重心があり、大人でも子供でもどこでもバランスが取れ(=トウが動かない)、自分のストローク通りに打てるセンターシャフトパターだ。工房の3Dプリンターで設計したら、その足で施設内にある友人宅が経営する工場



「ラストモーション」社のセンサーを挿入できる最新モデル。センサーだけにわずかなズレも許さないシビアな加工が要求される。クロノス以外の高級バターもこの工場製であるものは多い。

る。そんな日本のクラフトマンシップに感銘を受けたことが、現在のパートナー作りの原点となつたのです」

道具は見た目や素材の良し悪しだけに左右されるのではない。加工しやすく軽いアルミニウム、非常にソフトな真鍮、素材にはそれぞの良さがあり、違う側の事を理解

フィリップ

## フィリップ氏が紡ぐ特別な関係

自社工場を持たない代わりに、クロノスゴルフは  
フィリップ氏をとりまく多くのスペシャリスト達に支えられている。

機のバーツも製造する工場に勤務。「航空機のアルミ製バーツは様々な耐久テストを実施し品質をチェックしています。高密度で曲げ戻しても壊れない航空機にも使える素材で作るクロノスのバターは、最大でプラス9度まで曲げても耐えました」とフィリップ氏。A4用紙一枚にも満たない1グラムにこだわる性能を支える。

いるのだ。



野球、バスケットボール、  
ゴルフなどのスポーツに  
生かせるデータ計測や解  
析の企業、プラスチモー  
ションの創業者マイケル  
はビジネスパートナー。

表した伝統的な形状と、フェースセントーに重心があり、わずか3ミリの幅の上で完璧にバランスを取る精度の高さ。クロノスゴルフはどこか職人気質なパープラングだ。大陸的で大らかな西海岸という土地でなぜ彼はこんなセンスを身につけたのか。そこには彼のルーツと関係がある。「カールスバッドで生まれ育ち、高校生時代はサーフィンやバスケに夢中な典型的な学生生活でした。サンディエゴはほとんどアジア人を見かけることがない白人社会ですが、母



削り出しパターだけでなく、日用品から銃やナイフまで取り扱うメッキ工場は工房の傍に。近隣にこうした工場があるのもカールスバッドならでは。

重鎮ジョン・アシュワース氏とは子弟のような間柄。彼の要望で専用のバターも開発した。

ショーン・アシュワース氏は、高校時代スクランチプレイヤーだった彼が、パートナーを志すのは必然だった。

2012年までに試作を重ね、翌年のPGショーン・アシュワース氏は、高校時代スクランチプレイヤーだった彼が、パートナーを志すのは必然だった。

2012年までに試作を重ね、翌年のPG

まめな品質チェックも可能だ。  
某パートーブランドの立ち上げメン  
バーだった熟練工はグライダーによ  
る研磨技術の先生だし、ゴルフアパ  
レルの「アシュワース」創設者で、  
現在「リンクソウル」のデザイナー  
を務めるジョン・アシュワース氏は

# TEAM EVEN SHOPPING

# REVIEW

チームEVEN“自腹”レビュー

コレ、本当に買いました！

編集業務に追われながらもラウンドと物欲だけは止まらない  
本誌編集部員&関係者が、今月もポチッとした自腹アイテムをご紹介。

写真○六本木泰彦、アラタジン



話題のグリップに  
ドライバー用が  
ラインナップ!



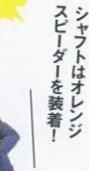
ツアーやでも使用さ  
れているバター用  
だけでなく、「グ  
リップで飛距離ア  
ップ」をコンセプ  
トにしたドライバ  
ー用も購入。

カメラマン  
ロッポンギ

冬場はラウンドを控  
えていましたが、こ  
れからはガンガン行  
きますよ。プレー付  
きの撮影、求め!



あえて  
US仕様を  
チョイス!



副編 フクダ

2本の柱がクラウンとソールを繋ぐ「ジエ  
イルブレイクテクノロジー」が、驚異的な  
ボール初速を生み出し飛距離を伸ばす。

数年ぶりに女子開幕  
戦の取材で沖縄へ。  
ツアーホテルの雰囲気  
好きです。今年も沢  
山取材しよう。

ROPPONGI'S SHOPPING

## 藍ちゃんも使うバター用グリップをGET

連載「タクミのカクゲン」(184~  
187ページ参照)の取材で静岡へ。  
その帰りに買いました「JOP」のグ  
リップ。平野旬社長にあれだけ熱弁  
されたら使ってみるしかないでしょ  
う。宮里藍ちゃんも使っているピン  
クはおじさんには厳しそうだったの  
で、バター用はブラックにしました。

趣味はゴルフ…  
いや実は園芸です



春先は  
やることが  
いっぱい



いろいろ担当  
ケモン

最近ゴルフグッズ買  
えてないな、ホーム  
センターばかり行  
ってるし。てのがこ  
のコーナーで分かる。

KUMON'S SHOPPING

## 高速グリーンを自作してみる

猫の額ほどしかない小庭に芝生を  
植えよう一大決心。雑草だらけの  
荒れ地をレーキとスコップで耕し、  
肥料を入れ整地作業に勤しむ毎週末。  
最近暖かくなってきたので西洋芝の  
種をホームセンターで購入。種をま  
き、3月末にはようやく発芽。これ  
からが忙しい!?



KITAGAWA'S SHOPPING

## 体のメンテナンスって大切です

今月号では、ゴルフアクセサリー  
を特集しております。中でも特に  
気になったこのメンテナンスグッズ  
を早速購入。何でも、デスクワーク  
とラウンド&取材の運転によって惱  
まされていた腰痛が、このシートに  
座れば軽減されるというから驚き。  
肌身離さず使えます。



ブルーのポロシャツはニコちゃんマークが  
ラインストーンになっていてゴージャス。  
ホワイトは大好きなパイル地で肌触りが半  
端なく良い!



編集 フジ

アメリカ取材でブランド  
の方の生の声を聞き、限  
られたページですべてを  
お伝えできないのが残念。

FUJI'S SHOPPING

## ヘッドカバーの話だけで ご飯が何杯でもイケる

今月は特集の取材で米西海岸系ブラン  
ドをイッキ取材。ヘッドカバー一つでも  
語り尽くせないほどの物語に、改めてア  
メリカブランドの良さを実感。「ローズ  
&ファイア」は祖母との思い出の詰ま  
ったSINGER製ミシンのジグザグステッ  
チに、「クロノスゴルフ」はデザイナー・  
フィリップの人柄に魅了されてしまったクロ  
ノスゴルフは、ヘッドカバーも抜かりな  
い上質さ。これに合  
うバターも欲しい。



燃えるような  
ヘッドカバー作り  
への情熱



編集長 ミズカミ  
ひょんなことから、  
とあるゴルフ場のメ  
ンバーになっちゃ  
いました。遂に、憧れ  
のクラブライフが始  
まる!

MIZUKAMI'S SHOPPING  
今夏の主役ポロを  
いち早くゲット!

先月号で今一番気になるブランドは  
「ホーンガーメント」と書いたら、あち  
こちから「そんなん豪語して良いんで  
すか?」とか「あれは本当ですか?」と  
聞かれた。主観全開で書く巻頭のコラム  
で、嘘ついてどうすんだっつうの。とい  
うこと、別にそれを証明するためでは  
ないけれど、六本木ヒルズのショップ「ハ  
リウッドバイマーク&ロナ」に行ったの  
で、件のブランドのポロを購入。どちら  
もかわいくて選べなかったから2枚!